

倉敷市特定事業主行動計画に関するアンケート結果

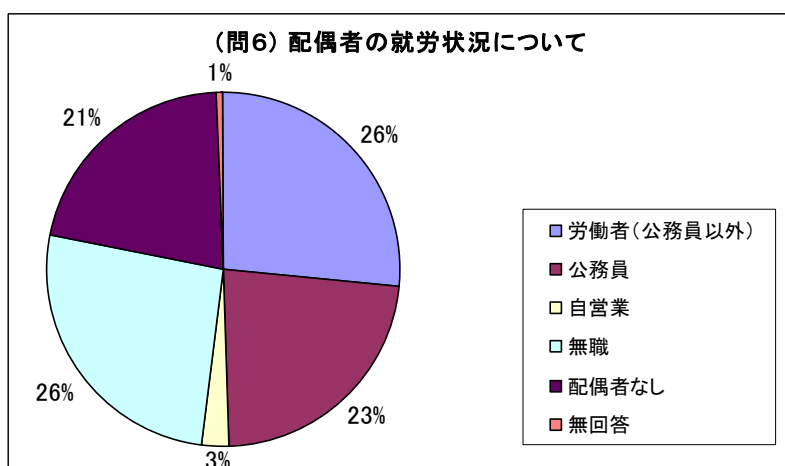
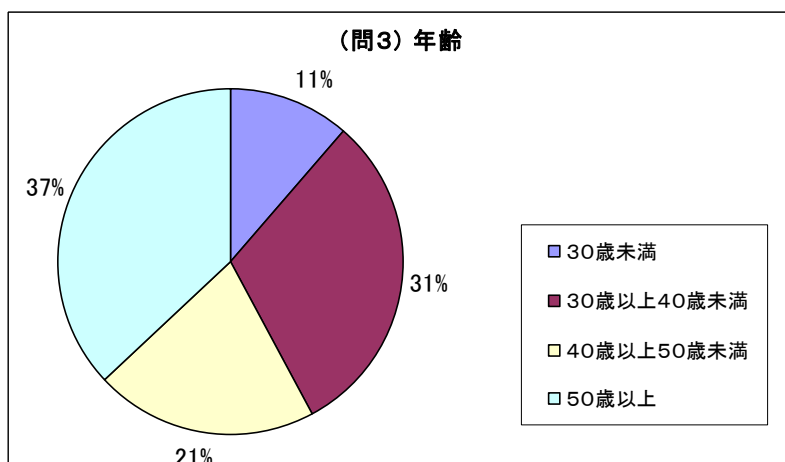
アンケートの目的：平成17年に倉敷市特定事業主行動計画を策定したが、2年経過した現状を把握し、行動計画の内容を見直す資料として活用するために実施するもの。

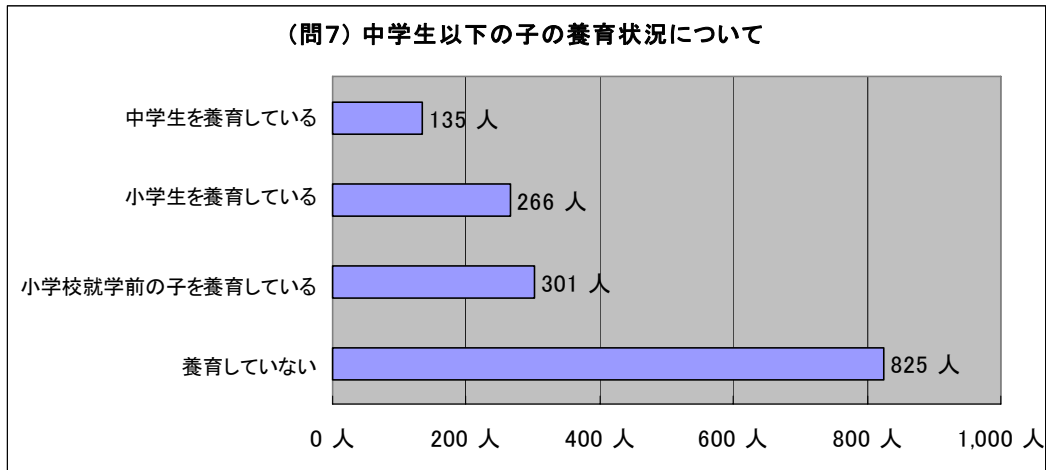
アンケート実施期間：平成20年2月15日（金）～2月29日（金）

男女別回答率

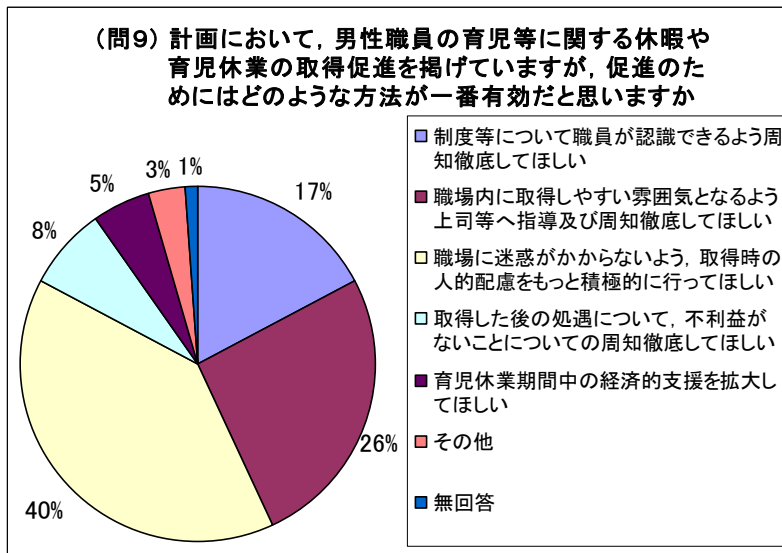
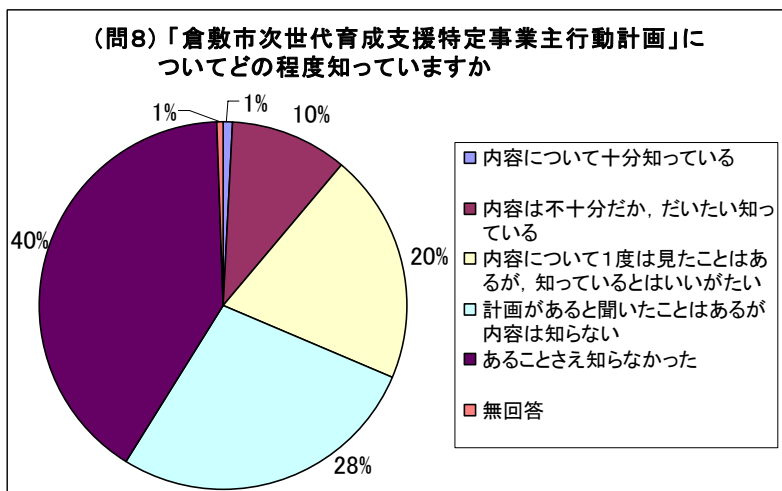
	男性	女性	合計
対象者	2,448人	1,276人	3,724人
回答数	825人	583人	1,408人
回答率	33.7%	45.7%	37.8%

回答者の属性





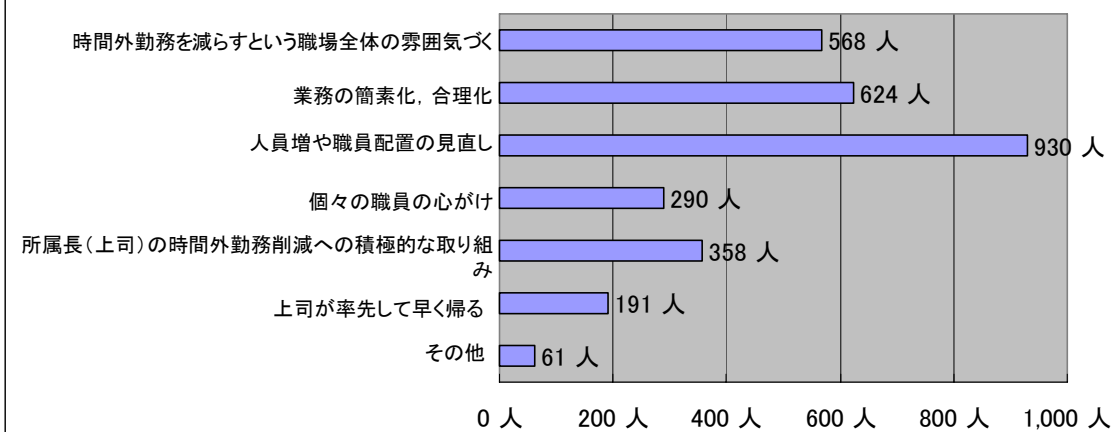
特定事業主行動計画



その他意見

- 上司による斡旋が必要。自分からは取れない。
- 女性登用（昇進）を積極的に行う
- 倉敷市としての取組み姿勢を市の幹部から積極的に理解していただきたい。過去の様々な素晴らしい計画も市の幹部が理解していないため、形骸化しているのが現状である。
- 職員の意識改革が必要だと思います。

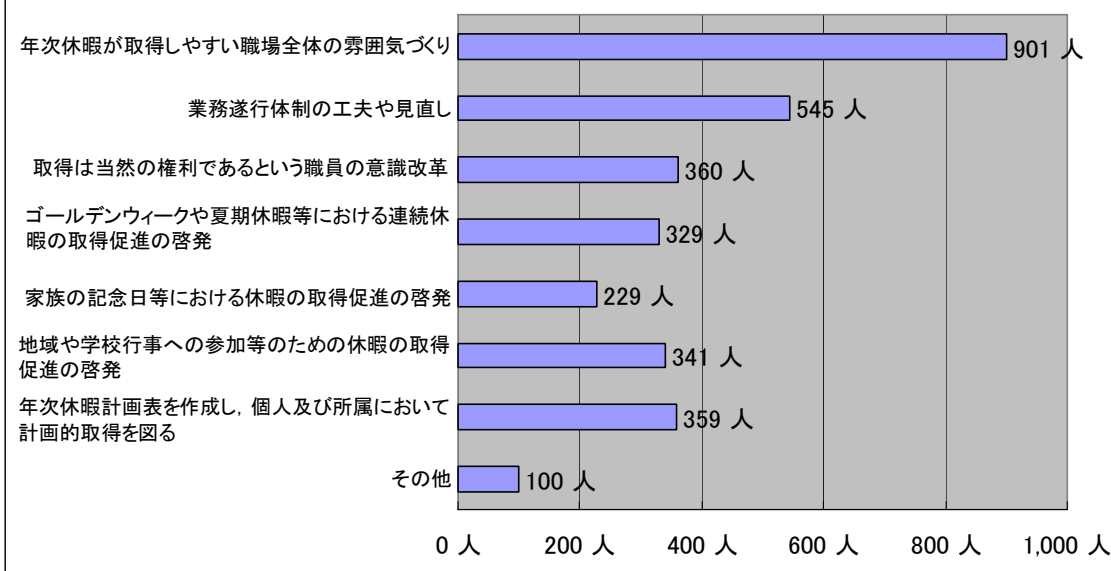
(問10) 計画において、時間外勤務の縮減について掲げていますが、縮減のためにはどのような方法が有効だと思いますか



その他意見

- 管理部門の事務改善。担当課の事務改善では限度がある。
- 馴れ合いのような感覚で、他の人が終わるまで残業しているようなことがあるが、必要な時間だけ残業をするように時間管理の徹底をする。
- 管理職員は仕事をしなくてよい、という悪しき因習の打破。怠惰な職員への厳しい指導。名ばかり管理職への時間外手当の支給。異動を減らし、業務に精通することによる効率化。
- 上司が時間内に仕事が終了させれるすがたを見せ、率先して早く帰る。(私の部署はそれでうまくいっている。)

(問11) 計画において、年次休暇の取得の促進を掲げていますが、取得促進のためにはどのような方法が有効だと思いますか



その他意見

- 夏季休暇と同様に年次休暇の一定程度を計画休暇とする取り組み (例えば昨年度休暇取得日数が5日未満であれば毎月1日の年次計画休暇を所属長と事前に協議する。)
- 全職員に該当するように、たとえば、生まれた「月」に年次休暇を計画的に取得する。
- 原則として月に1回は取得しなさい! など具体的な通知をだしてほしい。
- 取得理由をせんさくしない。言わなくて良い。

(問12) その他職員の子育ての支援として取り入れてほしい制度や要望

- 子育てフレックスタイムの導入
- 男性の育児に関する休暇・休業はぜひやってみたいと思いますが、後ろめたさを感じて結局取らないと思います。「男性も当たり前」「やりたい」と思わせる意識改善のため、積極的にPRしていただきたいです。
- 子どもが幼いときは早く帰りやすい部署へ、ある程度大きくなったらどこでも、といったように職場配置にも特段の配慮をいただきたい。子育て世代の異動希望をよくみてほしい。
- 不妊治療などの検査で病院に行くときの特休や不妊治療の補助
- 制度・要望の拡充よりも「倉敷市次世代育成支援特定事業主行動計画」のPR及び職場への周知徹底が先である。